



□□ \_\_\_\_\_ □□

1. 年頭所感 … 自費出版文化を守り育てるNPOとして  
誇りと使命を持って面白くやっていきましょう

□□ \_\_\_\_\_ □□

あけましておめでとうございます。  
日頃、自費出版文化向上のための多大なるご協力をご感謝申し上げます。  
本年も何卒よろしくお願いいたします。

私たちJSNのNPO活動としては、自費出版本に光をあてるための  
「第25回日本自費出版文化賞」の運営とその作品のデータベースづくり。  
また、各事業所による自費出版本の品質や営業力の向上のための  
アドバイザー講座とアドバイザー試験の運営となります。  
私たちは、日本で唯一の自費出版文化を守り育てるNPO法人として、  
誇りと使命を持ち、併せて自費出版事業の経営を学んで、面白くやって  
いくことが大切だと思っています。

では全国大会でお会いしましょう。（共同代表 川井信良）

□□ \_\_\_\_\_ □□

2. お知らせ … 「2022岐阜全国大会」は現時点では開催予定です

□□ \_\_\_\_\_ □□

コロナ感染防止のため、2年間流れてしまった岐阜全国大会につきましては、  
現時点では5月13日（金）岐阜市の「ホテルグランヴェール岐山」にて開催  
予定です。ただオミクロン株等の感染拡大も予想されていますので、  
状況を判断して後日開催可否をお伝えします。

□□ \_\_\_\_\_ □□

3. お知らせ … 中山千夏代表のコラムに色川先生のこと

□□ \_\_\_\_\_ □□

中山千夏代表のコラム『はまぐりのねごと』（週刊金曜日2021/11/26）  
に色川先生のことを触れています。  
（添付ご参照）

□□ \_\_\_\_\_ □□

4. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.49

□□ \_\_\_\_\_ □□

「記憶に残る一冊」

株式会社カミヤマ 神山明彦

今まで数多くの自費出版の編集に携わってきましたが、今から27年前  
のことです。  
元小学校の校長先生で、趣味の中国画の研究を本にまとめる内容でした。

再校正を出した後、なかなか返事がないため、こちらから連絡したところ、奥様から先生が入院されたことを伺いました。しばらくしてから先生から直接電話があり、癌で入院していることと、校正を頑張って終わらせるので、なるべく早く納品してほしいといわれました。

校正が終わり、印刷段階で奥様から「主人の容態がかなり悪いので、1冊でもいいから早くできないか」と連絡をもらいました。製本会社に訳を話しとりあえず10冊だけ納品しました。納品した翌日奥様から電話があり、出来上がった本を手にとった後、亡くなったとのことでした。

発行日が命日という忘れることのできない1冊となりました。

□□ \_\_\_\_\_ □□  
☆ 知つとこ 岐阜 ☆ (再)その8

□□ \_\_\_\_\_ □□  
知つとこ岐阜 その8

岐阜が舞台の小説

川端康成『篝火』『非常』『南方の火』その2

前回は、「これを読むと岐阜を訪れたい小説」として川端康成の『篝火』『非常』『南方の火』のあらすじを紹介いたしました。この3編の中には、加納天満宮や岐阜駅、名和昆虫博物館や鶺鴒など、岐阜の町並みや観光地がたくさん出てきます。瀬古写真館を訪れ、初めて一緒に写真を撮る場面があるのですが、川端と初代のなんとも初々しい姿が笑ましく描かれています。今でも残るその時の写真には、二人の結婚に胸を膨らませている川端と、まだあどけない表情の初代が写っています。

.....  
岐阜市の裁判所前の写真屋だった。  
『髪は?』と時雄(川端)が小声に言った。弓子(初代)はひょいと彼を見上げて頬を染めると、子供の素直な軽さばきでばたばたと化粧室へ走っていった。ちらちら薄黒い裏を見せながら古びた絨毯の上を渡っていく紅い鼻緒の上草履。そんなものまでが彼に弓子を感じさせた。弓子は化粧室の壁の鏡で髪を掻き上げた。その動いている脇だけが入口の冷たい壁からこぼれて見えた。それを見ただけでも時雄は夢のように幸福だった。微笑が温かくこみ上げて来た。

『南方の火』より

.....  
こんな幸せな時間を過ごした二人ですが、この恋は悲しい結末を迎えてしまいます。いま読み返すと何とも切なく感じます。これは余談ですが、長い年月の後、二人は同じ日、同じ寺に納骨されました。単なる偶然かもしれませんが、最後まで不思議な縁で結ばれていたと思わずにはいられません。

\*\*\*\*\*

★あしがき

冒頭の話に戻りますが、私はというと昨年の漢字は「共」と書きました。  
さまざまなプロジェクトに共同で関わったり、新しいプロジェクトを  
共創したりした一年でした。  
そして何よりも家族や社員と大事な時間を共有し、共存できました。

今年も微力ですが、川井代表のお言葉のように、この日本費出版ネット  
ワークの皆さまと「共」に面白く、盛り上げてまいりたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いたします。  
最後までお読みくださりありがとうございました。

---

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら  
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いたします。

\*\*\*\*\*

◆日本自費出版ネットワーク事務局  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階  
電話：03-5623-5411  
FAX：03-5623-5473

<http://www.jsjapan.net/>

\*\*\*\*\*